



富士宮市 市制80周年

市勢要覧 2022

Fujinomiya City Guide

そして未来につなぐ

活力ある元気なまちに

わがまち富士宮市を





目次・市長あいさつ P01-P02

富士宮市 近年の歩み P03-P04

富士宮、今・昔 P05-P06

産業都市 富士宮 P07-P08

未来を担う子どもたちへ P09-P10

富士宮ってこんなまち P11-P12

ふじのみや未来VISION P13-P16

世界文化遺産 富士山のまち P17

源頼朝ゆかりの地 P18



清流の美
空間の美
庭園の美
誇りつもてる
品格のある町
心の癒される町

誰もが活躍できるまち

あなたにとっての富士宮市を教えてください。





富士宮市長

須藤 秀忠

富士宮市は、1942(昭和17)年6月1日に大宮町と富丘村が合併し、全国で192番目の市として市制を施行しました。

Fujinomiya city was formed on the 1st of June,1942, with the merger of Omiya Town and Tomioka Village to create the 192nd city in Japan.



住んでよし 訪れてよし
生んでよし 育つてよし
働いてよし 学んでよし
出会ってよし 結ばれてよし
やさしい思いやりのある町
人情あふれる 有徳の町
活力と豊かさあふれる 元気な町

づくり

Town development where everyone can play an active role.
Please tell us about Fujinomiya City for you.



富士宮市 近年の歩み

市制施行80周年の
節目の年を超え、
更なる飛躍に向け
富士宮市は変化し続けます。

Fujinomiya City celebrated the 80th anniversary of its municipal organization. Upon this milestone year, we take an oath that we will always be positively flexible for further progress and prosperity.

→白糸ノ滝整備

2013(平成25)年12月、白糸の滝下流に新しい滝見橋が完成しました。また、周辺整備の一環として、売店を一か所に集約した「富士山・白糸ノ滝テラス」がオープン。建物の高さや屋根の形状、色を統一して景観に配慮した施設となっています。

In December 2013, Takimi Bridge was completed in the downstream of Shiraito Falls. The spacious and sophisticated mall, "Mt. Fuji/Shiraito no Taki waterfalls Terrace" was also open. The height and shape of the buildings as well as color of the roofs have been standardized in order to harmonize with the landscape and the surrounding nature.



→静岡県富士山 世界遺産センターがオープン

2017(平成29)年12月、「世界遺産富士山－信仰の対象と芸術の源泉」を後世に守り伝えていくための拠点施設としてオープン。「永く守る」「楽しく伝える」「広く交わる」「深く究める」を柱に、歴史、文化、自然など、富士山を多角的に紹介するとともに、学術調査機能を併せ持つ施設です。

In December 2017, "Mt. Fuji World Heritage Centre, Shizuoka" opened in Miya-cho. It is a base facility to "protect, preserve, maintain, and ensure the transmission of the World Heritage site to future generations." The facility also accommodates academic and research functions.



世界文化遺産「富士山」
登録祝賀



2012
(平成24年)

- JR身延線の高架化(野中踏切の撤去)が完了
- 神田川広場が完成
- 富士宮市制施行70周年
- 大韓民国慶尚北道栄州市との友好交流関係都市提携

2013
(平成25年)

- 富士宮市と富士市とで、過去最大規模の総合防災訓練を実施
- 富士山が世界文化遺産に登録
- 第1回富士山女子駅伝を開催

2014
(平成26年)

- 埋蔵文化財センター「こあら」がオープン
- 療育支援センター「こあら」がオープン
- 駅前交流センター「きらら」がオープン
- 富士根保育園を建て替え
- 市立病院にトモセラピーを導入

2015
(平成27年)

- 国道469号下稲子バイパスが開通
- 大宮保育園内で病後児保育を開始
- くまもと県南フードバレー推進協議会とのフードバレー交流都市提携

2016
(平成28年)

- 富士市・富士宮市消防指令センターの共同運用を開始
- 大富士交流センターがオープン
- 西消防署北分署を移転し開署
- 神田川観光駐車場が完成
- 富士宮市手話言語条例を施行

2017
(平成29年)

- 全国の織田信長公ゆかりの市町が一堂に会する織田信長サミットを開催
- 白糸の滝交差点に、県東部初となるラウンドアバウトを設置
- 台湾台南市との友好交流関係都市提携
- 浅間町フレンドパークが完成
- 富士宮市制施行75周年
- 新学校給食センターでの業務を開始
- 国道469号山宮バイパスが開通



神田川観光駐車場トイレ



浅間町フレンドパーク



美しい花いっぱいのまちづくり



野中踏切高架化



市街地整備

→まちづくりの推進

2012(平成24)年、野中踏切の高架化により鉄道で分断されていた市街地が一体化。渋滞が緩和され往来が便利になりました。2016(平成28)年、神田川観光駐車場の竣工により浅間大社周辺の観光客の受け入れ体制が整い、「おもてなしはトイレから」を合言葉に多機能トイレも併設しました。2017(平成29)年に完成した浅間町フレンドパークは芝生が広がり、市民の憩いの場となっています。

In 2012, the elevated construction of Nonaka railroad crossing was completed. Incoming roads and sidewalks are fully developed that enhances the access into the city area where had been divided by the crossing. The city has now become more active than ever before. The Kandagawa Tourist Parking Lot, and facilitates multipurposed restrooms, completed in 2016, serves the important role to receive tourists for the Fujisan Hongu Sengen Taisha Shrine while "Friend Park," completed in the following year, is full of beautiful lawns. You can see many citizens relax or enjoy various activities.

→東京2020オリンピック スペイン空手チームの ホストタウンに



東京2020オリンピックにおいて、ホストタウンとしてスペイン空手チームを受け入れました。2021(令和3)年8月5日～8月6日に日本武道館で行われた空手競技にてサンドラ・サンチェス選手が金メダル、ダミアン・キンテロ選手が銀メダルを獲得しました。

Fujinomiya City was the host town for the Spanish karate team at the Tokyo 2020 Olympic Games. Sandra Sanchez won the gold medal and Damian Quintero the silver medal at the karate competition held at the Nippon Budokan from August 5 to August 6, 2021.

2018

(平成30年)

2019

(平成31年)

(令和元年)

2020

(令和2年)

2021

(令和3年)

2022

(令和4年)

静岡県富士山世界遺産センターがオープン

- 第4回全国小水力発電大会を開催
- 滋賀県近江八幡市との夫婦都市提携50周年
- 富士宮産100%の牛乳を、小中学校の学校給食で提供開始
- 宝町公園が完成

- 富士宮市立病院に地域包括ケア病棟が完成
- 富士宮市が果実酒リキユール特区に認定
- 富士宮市が完成

- 国内での新型コロナウイルス感染症拡大により、市内公立小中学校が一律に臨時休校
- 芝川町との合併10周年

- 富士山・白糸ノ滝テラスがオープン
- 公立小中学校へのエアコン設置が完了
- 市内における光ファイバ網の整備が完了

- 保健所のない自治体で全国初となる新型コロナウイルスPCR検査場を開設

- 富士宮市・白糸ノ滝テラスがオープン
- 公立小中学校の児童生徒へのひとり1台端末の配備が完了
- 「ゼロカーボンシティ」として取り組むことを宣言

- SDGs 未来都市として内閣府から選定
- 白糸会館を建て替え
- 富士交流センターがオープン

- 東京2020オリンピックの空手女子形でサンドラ・サンチェス選手が金メダル、空手男子形でダミアン・キンテロ選手が銀メダルを獲得
- 東京2020オリンピックの聖火が市内をリレーし、記念式典を開催

- 毎月20日を「子ども安全の日」として制定
- 村山浅間神社の駐車場が完成

- 富士宮市制施行80周年
- 田貫湖畔広場が完成
- 児童館「らっこ」がオープン

市制80年の歴史を振り返る

富士宮、



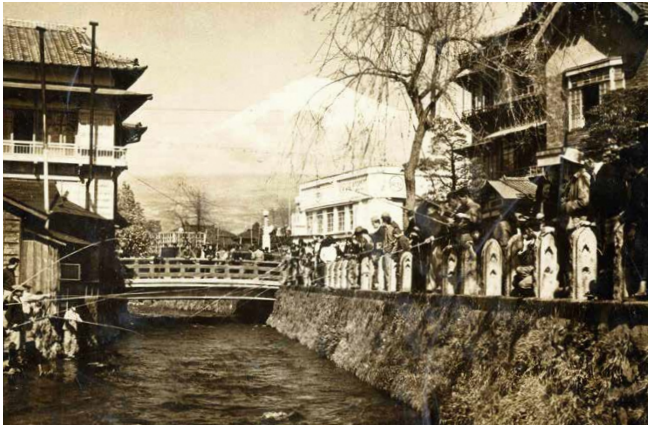
富士宮市の制定から街の景色は大きく姿を変えました。
その時節を生きた人々が、より良い街にしようと取り組み、
つないできた姿が今の街並みとなっています。
時代とともに変わったものもたくさんありますが、変わらないものもたくさんあります。

The cityscape has changed dramatically since the establishment of Fujinomiya City. It is the result of what the people who lived through generations have worked to make the city a better place.

写真は1953(昭和28)年頃の富士宮駅

市街地の変遷

📷 浅間大社南 神田川沿い



現在
Current

古い写真は1951(昭和26)年、神田川でます釣り大会が行われたときのものです。現在は河川が拡幅され、神田橋も平成元年に架替えを行ったため当時とは異なりますが富士山の眺望は今でも変わりません。

The old photo was taken in 1951 when a trout fishing tournament was held on the Kanda River. The river has been widened and the bridge was replaced, but the view of Mt. Fuji remains unchanged.

📷 神田川ふれあい広場



現在
Current

2016(平成28)年にリニューアルした神田川ふれあい広場は、今も昔も変わらず人々の憩いの場として親しまれ、春には桜並木から見える富士山の景色を楽しむことができます。

Kanda River Fureai Park, renewed in 2016, is a popular social place among community people. In spring, visitors can enjoy the view of Mt. Fuji from the rows of cherry trees.

📷 神田通り



現在
Current

大宮町東交差点付近から浅間大社方面を見た街並み。ネオン管の電飾が歴史を感じます。今も変わらず続いている店舗も見受けられます。

📷 富士宮駅前



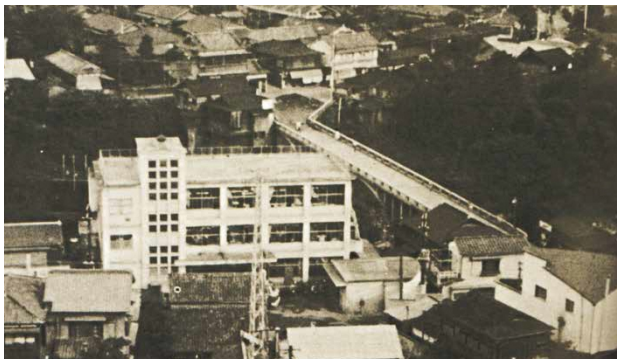
現在
Current

古い写真は1953(昭和28)年に撮影された富士宮駅前の風景です。現在は交通の発展に伴い整備され、車の往来の多い通りとなりました。
The old photo shows the view in front of Fujinomiya Station in 1953. Today, the street is well-developed as traffic has become much busier.

A street looking toward Fujisan Hongu Sengen Taisha Shrine from the Omiya-cho Higashi intersection. The neon lights give a sense of nostalgia. Some stores are still in business today.

芝川地区

📷 旧芝川町役場



現在
Current

古い写真は1958(昭和33)年に竣工した旧芝川町役場です。1988(昭和63)年に移転し、現在は芝川会館として活用しています。

The old photo shows the former Shibakawa Town Hall, completed in 1958, was relocated in 1988 and is currently used as Shibakawa Community Hall.

北部地区

📷 白糸ノ滝



現在
Current

2013(平成25)年に白糸ノ滝の整備が行われ、土産店があった場所には展望遊歩道を整備し、より自然に近い感覚で滝を眺めることができました。

In 2013, An observation walkway for Shiraito no Taki waterfalls were renovated. It allows visitors to view the falls up close and to feel it with a more natural environment.

産業都市 富士宮

Fujinomiya City Industry



製造品出荷額
1兆円
のまちへ!

2022年 富士山南陵工業団地

2010年

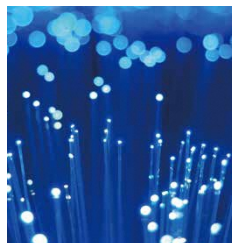


現在は
工場が立ち並ぶ南陵
工業団地も2010年は
整備されたばかりの
更地でした。

優良企業が 富士宮に続々進出!!

富士宮市は、首都圏等への優れたアクセス性に加え、富士山麓の広大な自然環境や豊かな水資源等の地域資源を活用して、製紙、化学・医療機器、輸送機械、食料品等を中心に発展を続けています。工業団地は1963(昭和38)年にできた、最も古い富士宮鉄工団地をはじめ、山宮工場団地、西富士工場用地、食関連産業や高付加価値商品の製造を行う企業が集まった富士宮北山工業団地があります。2010(平成22)年に造成された富士山南陵工業団地は、2017(平成29)年に全区分が完売し、10の優良企業が進出しました。

Thanks to its good accessibility to the Tokyo metropolitan area and the vast natural environmental advantages at the foot of Mt. Fuji including abundance of water resources, the industries in Fujinomiya City have well developed in the fields from paper manufacturing, chemical and medical equipment to transportation machineries and food products. Since its first Fujinomiya Tekko Industrial areas, formed in 1963, several industrial parks have completed such as Fujinomiya Kitayama Industrial Park specializing in manufacturing high-added value products. Fujisan Nanryo Industrial Park was completed in 2017 where 10 blue-chip companies have moved in.



光ファイバ網整備

2020(令和2)年4月から、市内全域で光回線でのインターネット利用が可能となりました。ブロードバンド基盤整備が完了したことで、光回線を利用した、スマート農業、テレワーク、ワーケーション、防災情報連携やWebカメラでの危険場所監視など、さまざまな場面での活用が期待されます。

In April 2020, the Internet via fiber optic lines became available in the entire city. With the broadband infrastructure, the city works on various measures using optical fiber, including industrial promotion such as smart agriculture and remote work as well as tourism measures such as workcations. Also, it offers disaster prevention information that monitors hazardous areas with web cameras.

製紙

生活に欠かせないティッシュペーパー、トイレトペーパーなど、本市に進出した企業が生産する製品が、ふるさと納税の返礼品として人気を博し、関係人口の増加にも貢献しています。

Daily necessity products such as tissue and toilet papers, manufactured in the city, have gained popularity as tax returns gifts. The phenomenon contributes to increase population related to the industry.



化学・医療機器

近年の市内の製造品出荷額においては、医療品や医療用機器を始めとする化学工業の成長が目立ち、静岡県全体の化学工業分野の約2割を当市が占める状況となっています。

In recent years, the growth of the chemical industry, including medical products and equipment, has been distinctive in the city's manufactured products shipments. It accounts nearly 20% of the chemical industry sector in Shizuoka Prefecture as a whole.



知ってましたか？

富士宮は日本一の小水力発電のまち！



富士宮市内には18か所の小水力発電所があり、箇所数と最大発電出力の合計が共に日本一であることから「日本一の小水力発電のまち」を掲げています。近年、小水力発電による「再生可能エネルギー」の導入が進み、2017(平成29)年度以降、新たに7施設が稼働しました。小水力発電は、小さな河川や用水路を使って発電できるため、「再生可能エネルギー」として環境への負荷が少ない点で優れています。市では、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みの1つとして小水力発電の導入を推進しています。



Fujinomiya City has 18 small-scale hydroelectric power generation plants (Small-hydro). The total number of plants and maximum power output are both the highest in Japan; therefore, the city has the title of "Japan's Best Small-hydro City." The introduction of "renewable energy" through Small-hydro has progressed, with seven new facilities established since 2017. Small-hydro produces "renewable energy" which places little burden on the environment because it operates using small rivers and irrigation. The city is promoting the introduction of Small-hydro as one of its initiatives to realize a zero-carbon city.

起業・創業・事業者 相談窓口 **ビジネスコネクトふじのみや**

あなたの夢・未来へコネクト!



ビジネスに教科書はありません。あなたが築く道はあなたのもの。起業・創業、経営の中で時に迷ったり、壁に当たる時もあります。そんな時、頼ってもらえる場をつくりたい! そんな想いから富士宮市・富士宮信用金庫・富士宮商工会議所・芝川商工会の4者が連携して「ビジネスコネクトふじのみや」が誕生しました。ぜひ、私たちの知恵を使ってください。

There are no textbooks in business. You need to conquer your own path. Sometimes you may feel lost in the process of starting or running a business. We provide "Business Connect Fujinomiya" where any business owner is welcome and ask for consultation or help. It's supported by Fujinomiya city, together with Fujinomiya Shinkin Bank, Fujinomiya Chamber of Commerce, and Shibakawa Chamber of Commerce.



富士宮市



富士宮信用金庫

富士宮商工会議所



静岡県富士宮市 芝川商工会

輸送機械

基幹産業である、輸送機器産業では、電動化や自動運転化に向けた技術革新・産業構造の変化に対応しながら次世代への発展に備えています。



The transportation equipment industry, a key industry in the city, eagerly operates in development for commodities in the next generation. It requires technological innovation for electrification and automated driving.

食料品

富士山の伏流水を得られることなどが大きな魅力となり、飲料や食料品等の有力企業の集積が進み、市域の工業の中においても大きな存在感を示しています。



The availability of underground water from Mt. Fuji becomes a major attraction. Leading companies in food and beverage industries have set up their factories which has large presence in the industry in the region.

未来を担う 子どもたちへ

未来の富士宮を担う子どもたちが
安心して成長していける環境づくりを行っています。

For Children of the Future

We are developing projects designed to create a pleasing environment
for the children who are entrusted with the future Fujinomiya.

小中学校 エアコン設置

2018(平成30)年度、記録的な猛暑
が続き、市内においても熱中症または
その疑いによる救急搬送が増加しま
した。富士宮市では、いち早く市
内の小中学校へのエアコン
設置を行いました。

世界にはばたく 子どもたち育成事業

2017(平成29)年度から国際感覚
の優れた人材育成を目的として市
内の中学生を英語圏の国で生活
体験・語学研修を行う事業を開
始しました。自主性の成長
も促します。

小中学生教職員 海外派遣研修事業

2017(平成29)年度から英語教育の
牽引役となる人材育成を目的に、小中
学校の教諭をイギリスに派遣してい
ます。指導者の成長が生徒の成
長へとつながるようバック
アップします。

小学校のための 外国語ハンドブック発行

Foreign Language Handbook for Kids

2017(平成29)年度、グローバルコミュニケーションに役立てる目的
で、富士宮市を訪れる外国人に観光地などを外国語で案内できるハ
ンドブックを作成しました。2022(令和4)年度には、二次元コードや
新しい内容を追加した改訂版を発行し小学校高学年の児童に配布
しています。



In 2017, we published a guidebook for foreigners visiting Fujinomiya City
with the aim of encouraging global communication opportunities for the
5th and 6th graders. New edition with QR codes published in 2022.

One PC for one student. From 2020, the city provides students in
elementary and junior high schools for their own PC and high-speed
connections for ICT education era.

IGIGAスクール構想

School ICT Concept Launched

2020(令和2)年度から義務教育を受ける児童生徒のために、ひとり1台
の学習用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備しました。児童
生徒が自分のパソコンを活用しての学習ができるようになりました。

子育て支援の施設

保護者も、お子様も
気軽に活用できる場所があります



療育支援センター こあら

2014(平成26)年5月開館。発育や発達が気になる就学前の子どもと
その家族のために相談から療育まで一貫した支援を行っています。



富士宮市
元城町1-2
☎0544-22-6868

児童館 らっこ

2022(令和4)年5月、子どもの居場所、子どもの育ちに必要な
遊びの場、子育て支援の拠点として、誕生しました。



富士宮市
若の宮町47-1
☎0544-21-3715

「みんなで子育て、みんなが仲間」

「ふじのみやベビーステーション」

Community Support in Parenting “Fujinomiya Baby Station”

2016(平成28)年から、富士宮市とNPO法人母力向上委員会が協力し、粉ミルク用のお湯の提供、紙おむつの販売、おむつ交換台の設置など、子育てを応援する市内のコンビニや公共施設を「ふじのみやベビーステーション」として認定しています。富士宮市は地域が一体となって子育てを応援するまちづくりを目指しています。

Since 2016, the city and the Mother Power Improvement Committee, have collaborated to support raising children. There are certified facilities named “Fujinomiya Baby Stations” in the city to support mothers ranging from offices to convenience stores.



より安全に、より楽しめる公園づくり

「公園整備」

Safe & Pleasant Parks “Park Improvement Project”

新しい公園として、2014(平成26)年4月に富知神社こども広場、2017(平成29)年6月に浅間町フレンドパーク、2019(平成31)3月に宝町公園がそれぞれオープンしました。

また、白尾山公園や外神東公園などの公園で、複合遊具の新設、園路、トイレなどのバリアフリー化を行っています。そのほかの公園でも遊具の更新を行い、魅力の多い公園づくりを進めています。

New parks continuously opened in 2014 (Fukuchi Shrine Kids Park), 2017 (Asama-cho Friend Park) and 2019 (Takara-machi Park). Also, Shiraosan Park and Togami Higashi Park have renovated with new playground equipment, parkways, and barrier-free restrooms. Other parks are also updated with attractive equipment.



誰もが暮らしやすいまちへ

優しい環境づくり



「市立病院地域 包括ケア病棟の開設」

2019(令和元)年10月、市立病院敷地に地域包括ケア病棟が増築されました。この病棟は入院から在宅復帰に向けてリハビリや療養準備を行う回復期には欠かせない病棟となっており、経過観察をしながら在宅復帰に向けた準備を行うことができます。



「高齢者を応援」

後期高齢者は光輝香麗者。お年寄りは光り輝き香り麗しい郷土の宝!年齢を重ねることが嬉しくなるまちづくりを進めます。



「市民ひとリースポーツの推進」

スポーツを通じて健康づくりや仲間づくりができるよう、いつでも、どこでも、誰でも気軽に参加できる機会を提供します。



富士宮って こんなまち

SPEAKING OF FUJINOMIYA



富士宮といえば

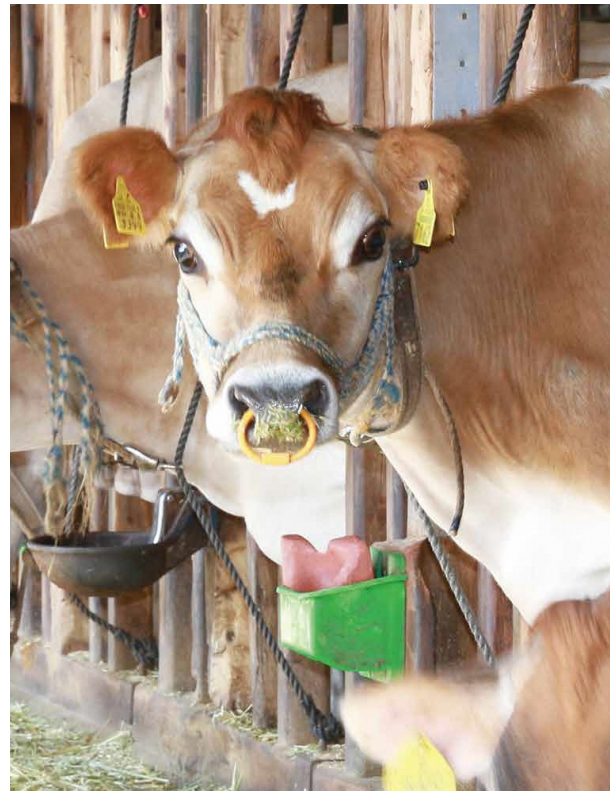
酪農

が盛ん!



富士山西麓の海拔600m～900mの高原地帯は、朝霧高原と呼ばれ、県下一の酪農地帯として広く知られています。牧草地の水はけもよく、地理的にも酪農に適した条件となっています。

Asagiri Kogen Plateau, located in the western foot of Mt. Fuji, is widely known as the best dairy farming area in the prefecture. The pastures are well drained, and the geographically suited for pasteurizing.



富士宮の緑茶

市内の至るところにお茶畑を見ることができます。お茶どころ静岡の中でもお茶の栽培が盛んな地域のひとつとなっています。

Tea fields can be seen all over the city. This is one of the most tea-growing areas in Shizuoka, one of the most famous tea-producing regions in Japan.

やっぱり

富士宮やきそば

地域活性化を目的とした B-1グランプリにおいて第1回、第2回と連続優勝を果たした富士宮やきそばは全国的にも有名となり、市外にも富士宮やきそばを提供する店が増えています。

Won the first prize at the nation-wide gourmet competition for 2 consecutive years, "Fujinomiya Yakisoba (fried noodles)" becomes majorly famous. There are more and more restaurants outside of the city serving Fujinomiya yakisoba.



富士宮といえば

お酒が美味しい!

富士山の湧水に恵まれ、昔から酒造りが盛んで、市内には4つの日本酒の酒蔵があります。また、近年では富士山の恵みを生かした地ビールやワインの製造もはじまり、現在では、ビールは3社、ワインは2社で製造されています。2019(平成31)年に果実酒リキュール特区の認定を受けたことで、小規模事業者も製造に乗り出しやすい環境になりました。

Thanks to spring water from Mt. Fuji, sake brewing has long flourished and there are four sake breweries in the city. In recent years, the production of local beer and wine has also launched, taking advantage of the blessings of Mt. Fuji. We now have 3 beer breweries and 2 wineries. In 2019, the area was approved as a designated zone for fruit wine liqueurs, making it easier for small-scale businesses to start production.



富士宮の にじます

市の魚にも制定されているにじますの養殖が盛んに行われており、全国有数の生産量を誇っています。ミネラルを多く含んだ湧水で育ったにじますは、その味も誇れる逸品です。

The cultivation of Nijimasu the rainbow trout, which has been designated as a city fish, is so flourishing that the city boasts one of the largest production in Japan. Nijimasu grown in spring water rich in minerals is a gem of which the city can be proud.



富士宮といえば癒やしの空間

朝霧高原

キャンプが大人気!



朝霧高原は雄大な自然と富士山の絶景を満喫できるスポットがたくさんあります。キャンプ場も多く、パラグライダーやE-BIKEなどのアウトドアレジャーも楽しむことができます。

Asagiri Kogen Plateau has many spots where you can enjoy the magnificent nature and spectacular views of Mt. Fuji. There are many campgrounds, and you can enjoy outdoor leisure activities such as paragliding and e-bike rides.



eb E-BIKE
FUJINOMIYA



移住者 INTERVIEW / 富士宮暮らし、 お気に入りです！

富士宮では、地方創生事業の一環として、ポータルサイト「fujinomiya life」を立ち上げ、県外からの移住・定住者の支援を積極的に行っています。ここでは、実際に富士宮で新しい生活をはじめた3人の方にお話をうかがいました。

ふじのみや未

“誰もが活躍で

Fujinomiya City has launched a portal site for people who moved into Fujinomiya. Here new lives in

豊かな自然と都内へのアクセスの良さも魅力！

Embraced with Nature, Yet Easily Accessible to Tokyo Metropolis!

大塚 祐介さん

Yusuke Otsuka

都内で長年ITや広告系の仕事をしてきた大塚さん。仕事は多忙で夜遅くまで仕事に追われる日々の中、将来は自然豊かな環境での起業を思い描いていました。移住地については最終的に福岡県の糸島も候補でしたが、大学時代からの趣味であったパラグライダーで朝霧高原によく訪れていたため、馴染みのあった富士宮に移住を決めました。

ピッツア好きが高じて素材や焼き方にこだわったキッチントレーラーによるピッツア店「朝霧高原あおぞらピッツア」を開店し、現在は市内を中心に様々な場所で販売をしています。今後はあおぞらピッツアをベースに、自身の拠点でもある猪之頭地区を中心に富士宮市北部の活性化や、人が集まる場所を生み出す一助になればと考えています。

地元の食材をふんだんに使用したピッツアは、わざわざ遠方から買いにくるお客さんもいるほど人気



Meet Mr. Otsuka, a longtime IT and advertising professional in Tokyo. He used to work until late at night every day, and he envisioned a future where he could start his own business in an environment rich in nature. Itoshima in Fukuoka prefecture was another option for him, yet he decided to move to Fujinomiya because he's familiar with the Asagiri Plateau where he often visits for paragliding, his pastime fun, since his college days. His love of pizza led him to start "Asagiri Kogen Aozora Pizza," a pizza restaurant on a mobile kitchen trailer that focuses on ingredients and baking methods. He currently opens their pizzeria at various locations around the city. In the future, I hope "Aozora Pizza" to be a base to help revitalize the northern Fujinomiya area, especially the Inokashira district where I am based. I'd truly like to contribute to create a place where community people can gather comradery.

移住定住ポータルサイト
fujinomiya life

都市へのアクセスがちょうどいい/
富士宮で暮らそう！

富士宮ライフ 検索



来VISION

きるまちづくり”

te "fujinomiya life" that actively support
we interviewed three people who started
Fujinomiya.



高木 宏昭さん
Hiroaki Takagi

優れた畜産環境が移住の決め手!

Excellent Livestock Environments Welcome Me

大学の頃から、チーズづくりの道を考えていた高木さんは、北海道のチーズ工房で加工や販売を学んだのち、富士宮で育まれる「良質な牛乳」と「豊かな水」に魅力を感じ、富士宮に移住されました。初めてこの土地に足を運んだ時は、富士山を背に放牧されている牛を見て、この景色をチーズを通して伝えたい!と感じたそうです。実際に住み始めてからは、県外からの観光客が多い

ことに驚き、観光地としても豊かな魅力の詰まったまちであることを日々実感しているそうです。富士宮といえば「富士宮やきそば」、フランスのカマンベール地方といえば「チーズ」と連想するように、富士宮といえばチーズと言ってもらえるようなチーズ工房を目指しながら富士山の麓の風景のひとつとして営業を続けていきたいと考えています。



Mr. Takagi had decided to become a cheesemaker since he was a student at University. After studying cheese business from processing to sales at a factory in Hokkaido, he moved to Fujinomiya City. He chose here because he was attracted by the "good quality milk" and "good quality water" produced in the region. On his first visit, he saw cows grazing with gigantic and beautiful Mt. Fuji at their back. He felt that he's destined to convey this scenery through cheese that he puts his heart and soul into. He also realizes the city is quite attractive as a tourist destination. For many people, Fujinomiya reminds of "Fujinomiya yakisoba" (fried noodles) just like Camembert region in France reminds of "cheese." Mr. Takagi works diligently at his cheese factory in the foot of Mt. Fuji hoping someday people associate Fujinomiya with "his cheese."



村上 菫さん
Ayame Murakami

色々な国を旅しましたが、 住むのはここ!と感じた街でした

After Traveled to Many Countries This is Where I Live!

海外への渡航経験が豊富でメキシコに在住していたこともある村上さんは、オーストラリアのワーキングホリデーを計画していたところ、新型コロナウイルスの流行もあり、出国をやむなく断念。縁を頼りに山梨の南部の宿にステイしたのち、富士宮へ移住をしてみました。多くの国を旅して、素晴らしい景色をたくさん見てきた村上さんですが、豊かな自然と雄大な富士山を毎日見れる環境に心が踊り、自分の直感を信じ富士宮への移住を決めたそうです。

会社員で働く傍らジャグアアーティストとして個人の活動と両立をした働き方を実践しています。富士宮は個人のお店でも個性的で魅力的なお店が多く、市内中に魅力がたくさんあると語る村上さん。現在もSNSで富士宮の魅力を発信していますが、より一層の地域貢献をしていければと考えています。

Ms. Murakami has extensive overseas experience including living in Mexico. She planned to go on a working holiday in Australia, but it was prevented by COVID-19. Instead, she moved to Fujinomiya after staying at Yamanashi the adjacent prefecture. She has traveled to many countries and seen many wonderful landscapes. Followed by her instinct, she decided to move to Fujinomiya City because her heart danced in the environment where she could see rich nature and landscapes including the magnificent Mt. Fuji every day. She is a company employee and an active jagua artist. Ms. Murakami says that Fujinomiya has many unique and attractive individual stores, and that there are many fascinations throughout the city. She shares the charms of Fujinomiya through SNS and hopes to contribute to the community even more.





富士山を守り、未来につなぐ。

富士山SDGs

SDGs
未来都市
富士宮市



2021(令和3)年5月、富士宮市は、

「富士山を守り 未来につなぐ 富士山SDGs」を掲げ
内閣府の「SDGs未来都市」に選定されました。

共生や、持続可能が未来のためのキーワードにあがる昨今。
これからの10年のため、富士宮市も挑戦と取り組みをはじめています。

"Inclusive Society" and "Sustainability" are keywords for better community of the future.
Fujinomiya City has launched actions to take initiatives for the decades to come.

“富士山SDGs”とは？ (SDGs=Sustainable Development Goals)

**[1] 富士山のふもとに、未来の担い手を繋ぎ止めるとともに、
新たな創り手が集い、地域につながるまち**

The community at the foot of Mt. Fuji where future leaders reside and proactively take a part, and that also attracts new creators to come and join.

[2] 富士山の豊かな自然とさまざまな産業が調和したまち

The community where the rich nature of Mt. Fuji and various industries are perfectly harmonized.

2030年のあるべきまちの姿とし、次の3つの取り組みを行います

Based on the above as the ideal community in 2030, the following three initiatives will be implemented.

1 FUJINOMIYA CITY FOR 2030 富士山の恵みの保全と活用

地域の自然環境や歴史・文化の魅力を生かした持続可能な観光及び富士登山の推進

Promoting sustainable tourism including Mt. Fuji climbing that takes advantage of the region's natural environment, history, and cultural attractions.

富士山文化の世界への発信及び構成資産の整備やトイレの洋式化による受入体制の推進

Offering information of Fuji culture to the world and improving the constituent assets. Also promoting the acceptance system by implementing westernizing toilets.

市民協働による環境保全及び再生可能エネルギー等の導入やエネルギーの地産地消の推進

Promoting environmental conservation and the introduction of renewable energy through citizen cooperation. Also achieving "local production for local consumption" of energy.



2 FUJINOMIYA CITY FOR 2030 富士山のファン開拓による移住定住の促進及び産業の創出

テレワーク等の環境整備による関係人口の創出

Creation of incoming population of Mt. Fuji lovers through telework and other environmental improvements

商工会議所や地元金融機関と連携した中小企業に対する総合支援

Comprehensive support for SMEs in cooperation with chambers of commerce and local financial institutions



3 FUJINOMIYA CITY FOR 2030 郷土愛の醸成による持続可能な社会の担い手育成

小中学校での総合学習「富士山学習」の推進による「持続可能な社会の担い手」の育成

Fostering "leaders of a sustainable society" through the promotion of integrated studies of "Mt. Fuji" at elementary and junior high schools

「富士山SDGs推進パートナー」登録制度の構築

Establishment of registration system of "Mt. Fuji SDGs Promotion Partner"



ゼロカーボンシティ

2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指します

富士宮市は、2021(令和3)年1月、「ゼロカーボンシティ」として取り組むことを宣言しました。これからは、多様な主体とのパートナーシップによる「地域循環共生圏」の構築を通じ、ゼロカーボンシティの実現に向け4つの基本方針のもと、各施策に取り組みます。

- 地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入推進
- パートナーシップによる「地域循環共生圏」の形成
- 省エネルギーの推進
- 環境に配慮したライフスタイルへの転換





2013(平成25)年6月、富士山が世界文化遺産に登録されました。
 富士宮市内では、富士山本宮浅間大社、山宮浅間神社、村山浅間神社、
 人穴富士講遺跡、白糸ノ滝の5か所のほか、富士山域が構成資産に選
 定されました。これらの構成資産は、古代、中世、近世、近代それぞれの
 時代における富士山信仰の歴史を語る上で欠くことのできない、貴重な
 文化財として世界に認められたものです。
 これら全てを訪れ、その雰囲気を感じることによって、富士山の世界文化遺
 産としての価値を理解することができます。

Mt. Fuji was registered as a World Heritage Site in June 2013. Fujisan Hongu
 Sengen Taisha Shrine, Yamamiya Sengen Shrine, Murayama Sengen Shrine,
 Hitoana Fujiko Ruins, and Shiraito no Taki waterfalls were selected as the 5
 constituent assets in Fujinomiya City.

信仰の対象
 芸術の源泉
 世界文化遺産
 富士山のまち



構成資産



富士山本宮浅間大社



白糸ノ滝



村山浅間神社



人穴富士講遺跡



山宮浅間神社

けんぼんちゃくしやくふじまんだらず
絹本著色富士曼荼羅図 (富士山本宮浅間大社蔵)
 Mandala of Fuji in Colors on Silk

富士宮の歴史は富士山の歴史でもありました。
 室町時代に描かれた「絹本著色富士曼荼羅図」は、当時の富士登山の文化をよく伝えてい
 ます。
 長らく富士山は修行の地とされ、噴火など自然の脅威と隣り合わせの危険なものとされて
 いました。江戸時代になると、「富士講」の普及とともに富士登山も盛んになっていきま
 したが、やはり修行としての性格が強く、一步一步を大切に登ったということです。

※江戸時代に、富士山そのものを信仰の対象として、富士登山を行う集団

The history of Fujinomiya reflects that of Mt. Fuji. Fuji Mandala, painted in the Muromachi period
 (1336-1573), conveys well the culture of Fuji trekking. For a long time, Mt. Fuji was regarded as a place for
 ascetic practices and was considered threatening, with natural threats such as eruptions and bears
 encountering. In the Edo period (1603-1867), Fuji trekking became popular along with the spread of
 "Fuji-ko," the religious groups of commoners who worshipped Mt. Fuji. It was still strongly considered as a
 form of ascetic training, and people trekked the mountain carefully, step by step.





富士の裾野巻狩之図 (富士山かぐや姫ミュージアム蔵)

Fuji no Makigari, the Great Hunting Maneuvers

1192(建久3)年、源頼朝は鎌倉幕府の初代将軍となりました。頼朝は将軍としての実力を天下に示すため、各地で巻狩を行いました。1193(建久4)年5月に富士の裾野(現在の裾野、御殿場、富士宮市北部一帯とされています)で行った約1か月の大規模な巻狩は富士の巻狩と言われ、江戸時代に描かれた「富士の裾野巻狩之図」にも頼朝が高台から巻狩の様子を見守っていた姿が描かれています。

In 1192, Minamoto no Yoritomo became the first shogun general of the Kamakura shogunate. In May 1193, Yoritomo held a large-scaled, a month-long Makigari the hunting maneuvers, called "Fuji no Makigari," at the foot of Mt. Fuji where is currently known as Susono, Gotemba and the northern region of Fujinomiya city). In the painting, Yoritomo is spotted at the height watching down how the Makigari went. The painting is preserved at Fujisan Kaguyahime museum.



陣馬の滝

Jinba no Taki Waterfall

源頼朝がこの滝の近くに陣を張ったとされたことから陣馬の滝と呼ばれています。

Minamoto no Yoritomo the Shogun camped near this waterfall during Fuji-no-Makigari, and thus the waterfall is called "Jinba" (the camp).



狩宿の下馬ザクラ

Geba-zakura (Cherry tree) at Kariyado

源頼朝が馬を繋いだといわれ、国の特別天然記念物に指定されています。

The Geba-zakura cherry tree in Kariyado is designated as a national special natural monument due to that Minamoto no Yoritomo the Shogun tied his horse to the cherry tree.



浅間大社の流鏝馬

Yabusame the Horseback Archery at Sengen-Taisha Shrine

源頼朝が富士山本宮浅間大社を参拝し、戦の勝利と国の安泰を祈願して奉納したことで浅間大社での流鏝馬が始まったと伝えられています。

It is said that Yabusame at Fujisan Hongu Sengen Taisha Shrine began when Minamoto no Yoritomo the Shogun visited the shrine to send prayers. He prayed for victory in battle and the security of the nation.



富士宮は鎌倉時代に
源頼朝による
富士の巻狩が行われた地
今も市内各所にゆかりの
スポットが残っています

富士宮の歴史を 再構築

市史編さん事業がスタートしています!

「富士宮市史」は、富士宮市の歴史を主に文章でまとめた本です。現在、上下巻の2冊が刊行されています。上巻は昭和46年、下巻は昭和61年に刊行されました。近年、開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査や、古文書資料の調査などによる資料の蓄積、歴史学研究的の進歩が見られました。また、芝川町

との合併や富士山が世界文化遺産に登録されるなど、富士宮市をめぐる状況は大きく変化してきました。

今回、最新の富士宮市の歴史を分かりやすく図説でまとめた、新たな富士宮市史を令和4年度から令和9年度にかけて5巻にわたり刊行します。



市民憲章

1967(昭和42)年11月1日制定

わたくしたちは、富士宮市民であることに誇りをもちお互いのしあわせをねがい、よい市民となるために、この憲章を定めます。

1. わたくしたちは、富士山を仰ぎ文化を高め、ゆたかな教養を身につけましょう。
1. わたくしたちは、明るい家庭をつくり、健康な青少年を育てましょう。
1. わたくしたちは、恵まれた自然を愛し、清潔な美しいまちをつくりましょう。
1. わたくしたちは、社会のきまりを守り、人に迷惑をかけないようにつとめましょう。
1. わたくしたちは、心身をきたえ仕事にはげみ、郷土の発展につくしましょう。

市歌

富士宮市 選定 小山章三 作曲 1967(昭和42)年11月1日制定

1	2	3
朝日に富士の 雪映えて	雪げの水の わくところ	香る歴史と 人の和に
明るい希望の 陽がのぼる	浅間の宮の 千木たかく	文化の花も ふくいくと
ああ さわやかな 富士宮	ああ ひかりさす 富士宮	ああ さかえゆく 富士宮
ここに生まれて ここに住む	ここに働き ここに住む	ここにくらし ここに住む
われらごぞりて このまちに	われらひとしく このまちに	われら明るく このまちに
夢を咲かそう うつくしく	幸を築こう ゆるぎなく	理想めざそう たゆみなく

市紋章



富士宮市(旧大宮町)は、浅間大社の門前町として発展したまちです。1942(昭和17)年6月1日、市制を施行しました。市紋章は、大宮町が1934(昭和9)年4月1日に町章に制定したものを、1942(昭和17)年12月23日に市紋章として富士宮市が制定しました。中央は「宮」の字、周囲は富士山を桜型にかたどったものです。色についての決め事はありませんが、市旗として使う場合のみ“紺色の地に白色の紋章を配する”と決められています。



市の木
「かえで」

1969(昭和44)年5月5日制定



市の花
「ふじざくら」

1969(昭和44)年5月5日制定



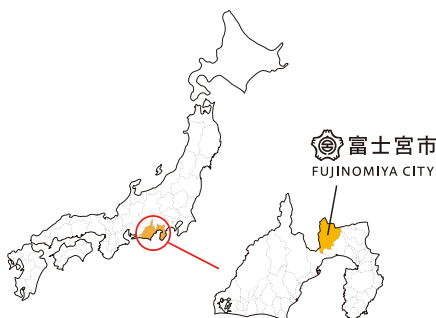
市の鳥
「ひばり」

1969(昭和44)年5月5日制定



市の魚
「にじます」

2009(平成21)年6月1日制定



発行:富士宮市
編集:企画部 広報課

発行日:2022(令和4)年6月1日

〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150
tel.0544-22-1119
fax.0544-22-1206
www.city.fujinomiya.lg.jp

